

中国広東省 環境ビジネス交流会

日 時 : 平成 27 年 8 月 24 日(月) 13:00~16:00
場 所 : 国民會館武藤記念ホール 小ホール
大阪市中央区大手前 2-1-2 国民會館住友生命ビル 12 階
主 催 : 関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム (Team E-Kansai)
公益財団法人地球環境センター
協 力 : 近畿経済産業局、中国広東省佛山市南海区環境保護産業協会

次 第

13:00~13:10 開会の挨拶

多木秀雄 公益財団法人地球環境センター 専務理事兼事務局長
謝 義忠 広東省佛山市南海区環境保護産業協会 (瀚藍環境股份有限公司副総裁)

13:10~13:15 支援機関挨拶

小橋厚司 近畿経済産業局 通商部国際事業課長

13:15~15:40 Team E-Kansai 正会員企業による技術プレゼンテーション

(講演者 所属 役職 敬称略)

- ① 13:15~13:35 仲喜治一 Jトップ株式会社
 - ② 13:35~13:55 三浦篤人 帝人株式会社
 - ③ 13:55~14:15 鈴木淳司 鈴木産業株式会社
 - ④ 14:15~14:35 河野博之 株式会社マツケン
- (5分休憩)
- ⑤ 14:40~15:00 岩佐龍三 グンゼエンジニアリング株式会社
 - ⑥ 15:00~15:20 丸山和人 株式会社堀場製作所
 - ⑦ 15:20~15:40 佐藤 光 株式会社クレハ環境
- 各15~20分程度(逐次通訳込)質疑応答含む

15:40~16:00 名刺交換・懇談

16:00 閉会

LL

閉会后 17:30 から別会場にて会費制による懇親会を開催します。

会場:「鶏ダイニング 月のおどり」

大阪市中央区道頓堀 1-1-11 24K ビル 2F 電話:050-5789-7062

技術プレゼンテーション 題名及び概要

①	<p>「活性炭自動再生濾過設備を用いた排水再利用クローズドシステムの紹介」 仲喜治一 Jトップ株式会社 代表取締役</p> <p>活性炭をオンサイトで自動的に再生する水循環型設備を用いて、工場排水・産業用排水を洗浄水に循環する排水再利用システムの紹介をいたします。本システムは JICA の普及実証事業プロジェクトとして採択されました。工場排水を河川に放流せずに再利用する循環型のクローズドシステムを紹介します。</p>
②	<p>「多段式生物処理法について」 三浦篤人 帝人（株） 水処理事業推進班／班長</p> <p>弊社が展開する多段式生物処理法について、以下の点から説明します。 ①概要／②技術内容／③事業展開</p>
③	<p>「強力酸気装置「エアレーターS1」による高効率・省エネシステム排水処理」 鈴木淳司 鈴木産業株式会社 代表取締役</p> <p>曝気槽内のディフューザ型酸気装置と比べて、10%以上の酸気効果と 30%以上の電気代ランニングコスト削減に繋がる。又、汚泥の堆積が無く、目詰まりもないため 10 年以上のノーメンテでの稼働が可能となる。導入費用は平均 1.5 年での実質償却が可能。</p>
④	<p>「UF 膜利用による油水分離技術と装置の紹介」 河野博之 （株）マツケン 取締役関西営業部長兼名古屋営業所長</p> <p>水溶性切削油・研削油廃水、ダイカスト廃水、圧延油廃水などの高濃度のエマルジョン廃水を直接 UF 膜モジュールに通してろ過を行う装置を紹介する。廃水は自動運転により膜モジュールに送られ、透明な処理水と COD 成分や油分を濃縮した濃縮液とに分離される。</p>
⑤	<p>「グンゼESCO（省エネ事業）ご紹介」 岩佐龍三 グンゼエンジニアリング（株） エネルギーソリューション部</p> <p>ESCO事業のスキーム及び事例紹介 断熱商材の特徴及び採用事例の紹介</p>
⑥	<p>「水質および大気環境の改善に有用な最新の分析技術の紹介」 丸山 和人 （株）堀場製作所 海外営業部／ジョブリーダー</p> <p>水および大気環境の分析から、排水・排ガス処理のプロセスにて使用される分析計まで、最新の分析技術を紹介する。60 年以上の歴史を持つ分析計専門メーカーだからできるポータブルから連続測定用装置までを幅広く提案する。</p>
⑦	<p>「クレハ流動層吸着式 VOC 回収・脱臭装置「GASTAK」のご紹介」 佐藤 光 （株）クレハ環境 環境営業部環境プラント営業課長代理</p> <p>クレハ球状活性炭を使用した流動床吸着方式による「排ガスの浄化」と「VOC の回収」を実現するシステムをご紹介します。</p>